企業を育て
地域を伸ばす
商工会議所

函館商工会議所ニュース

発行所
函館市若松町15番7－61号
電話代表（0138）23－1181
函館商工会議所
編集発行人　高間　勉

総額63,956千円

45年度収支予算案

満場一致で可決

事業計画、規定改正案も

通常議員総会

本商工会議所第五回通常議員会は三月二十七日本所で開催された。高間専務理事から二月中の主要事項については亀田町との合併問題や函館空港ビル会社設立への協力など来年度に引きつがれる主な事業について報告された。このあと議案①昭和四十五年度事業計画案（総額六千三百九十五万六千円）③諸規定改正案④常議員一人の補欠選任などを審議いずれも原案どおり可決した。

四十五年度事業の重点目標である①本商工会議所の運営基盤の確立②地域産業の育成振興と近代化の推進③広域経済圏の確立および隣接市町村の合併促進④函館港の整備、臨海工業地帯の造成および企業誘致の促進③函館空港ビルの建設に対する協力⑥南北道縦貫高速道路の再開発および整備⑦労働力確保、雇用安定の他労働対策の推進⑧地元生産品の普及及向上と貿易の振興などについても高間事務理事から概略が説明された。

九月には本所議員の改選期をむかえるが諸物価の高騰、人件費の増大に加えて最近のように会議所活動の積極化などもあって財政面も現われており、四十七年度には赤字が予想される。

収支計画がたてられた。この計画実施にともなう諸規定の改正などもあって、総会ではそれらう諸の事情が説明され了承された。

なお常議員の後任には三倍になるべく阿部前常議員の後任である丸井百貨店函館支店長横田豊議員が満場一致で選任された。

横田議員を推薦

常議員の補欠選任で

本商工会議所第二十回常議員会は三月二十三日午後二時開催、同三時二十分閉会した。常議員会は三月二十七日開催される第三回通常議員総会に提出する①昭和四十五年度収支予算案②諸規定の改正案（会費および負担金規定、特別会費規程、旅費規定）④常議員一人の補欠選任などについて審議、高間事務理事から各議案内容の説明を聞き、いずれも原案どおり可決した。

前任者に引きつづき新任の横田豊雄氏を推薦することを決めた。以下各案は二十三日の総会に付られる本改正により会費、負担金、旅費はいずれも増額されることになる。

余儀ない会費の引上げ

財政の確立が急務

事業推進の〝誘い水〟に

数年前までは一般の人々は、もちろんのこと商工業者の方々の中にも商工会議所とは一体何をやっているところかーと会議所に対する理解や関心の度合いは極めて低く浅いものであります。

ここで、一体何がそのような変化をもたらしたかを考えてみましょう。

うやく市民にも見直されてきたように思うからであります。

ここで、一体何がそのような変化をもたらしたかを考えてみましょう。

ここに二、三年のうちに会議所は皆さんの先頭に立って陳情運動を展開するなどの一つ二つと実績を積み重ねてきたように思うのであります。これには、もちろんのこと関係各機関をはじめ市民皆さんの協力がありました点を第一にあげねばなりませんが、このうち、すでに目的を達成した主なるものを挙げてみますと、青年センターの建設、ハリストス正教会の復旧、移転就職斡旋用宿舎の建設、簡易保険養老センターの設置決定、亀井交学園の建立、駅前駐車場の整備等々がありまして、いまや観光面に社会福祉面にそれぞれ機能を発揮しておりますが、これら一連の施設が出来上がるまでには会議所も大小に協力を惜しまなかったのであります。

なおこれからも亀田町との合併促進、函館圏総合開発計画の策定、函館空港の整備拡充への他函館空港の整備問題と前向きの姿勢で取り組み努力しつづけ一日でも早く実現するよう協力することを使命と会議所の仕事は今後ともふんばりそうです。

しかしながら、車が忙しく走りまわれば、それだけガソリンを多く消費すると同じように、会議所も仕事を多くやればやるほど、カネが掛るのであります。つまり仕事の量と支出は正比例するのであります。これはコドモにも解る理屈であります。

むつかしいことではなく、ぬるま湯につかって、じっと身動きしないようにしておれば事足りるのですが、会議所がそのような消極的で在り方では、業界のためにも、地域発展のためにも役立たないのであります。

去る三月二十七日の総会で承認されました昭和四十五年度の収支予算額は前年度に対比して二八・八%増となっております。この予算増は、諸物価の高騰、人件費増などいろいろ要因はありましょうが、最近、会議所の仕事がふえてきた証左でもあります。つまり仕事をやればやるほどカネがかかるという極めて簡単な理屈によるものです。

そこで新しい問題が提起されるわけであります。

問題のポイントは増収計画によって会議所の財政基盤を確立することであります。この対策として考えられたことは次のことであります。会議所には営利事業は許されませんので財政の柱は皆さんの会費に依存するほかありません。そしてそれにも限界があります。

要は新会員の加入獲得、会費、特別会費、役員会費をどそれぞれの引上げを皆さんに勧誘して頂けたら大変有難いことであります。会員数がふえるということは、とりも直さず地域発展への〝人誘い水〟となるものであることを確信するからであります。

ここに新会員獲得運動の推進が要請されるわけであります。

ここで、会員の皆さんの力添えをいただきたいと考えます。

過去十年間に四倍となり向う十年間には三倍になるであろうと外人をびっくりさせている日本経済の急速な伸展ぶりを考えてみると、ハドソン研究所のマーマン・カーン博士の〝21世紀は日本の世紀〟論もあながち過大評価とばかり考えられない▼こうした繁栄を誇る経済界の重要機関での脆弱さは、何を物語るものであろう。財政の柱を支えているものといえば、諸会費、負担金、雑収入と国からの補助金だけ。力強い大会議所の財政状態では会議所活動にも自ら限界があり、財政基盤の確立をすべての大前提として、西の常滑手段として考えられるのは新会員の獲得、諸会費、負担金の引上げに頼るだけ、これでは焼け石に水の一時しのぎで根本的解決策としては商工会議所法の改正まで待たなくては、▼手の内清を待つにひとしい▼昔の人一人一殺主義の右翼テロではないが、会員数倍増は確実であるが、そうなれば会社のセールスよりも面倒である。具体的反対給付のない勧誘には唯、会議所の使命を理解して頂くだけで入所快諾▼でないように思うのである。

私見

観光と宣伝の巧拙

田中誠一郎

イーヌは人神でさえ親を必要とする▼いったい、ここ函館市の観光政策はどうあるべきか、今日何の為に観光政策をするのか、ということ対処すべきか、という点である。まず人間社会のことを考えてみよう。

先日、ある席上で会った有名人が〝函館は宣伝不足であり宣伝下手でもある〟なぞと言ったのである。

なるほどこれは当然の話である。

しかしながら、車が忙しく走りまわれば、それだけガソリンを多く消費すると同じように、会議所も仕事を多くやればやるほど、カネが掛るのであります。つまり仕事の量と支出は正比例するのであります。これはコドモにも解る理屈であります。

むつかしいことではなく、ぬるま湯につかって、じっと身動きしないようにしておれば事足りるのですが、会議所がそのような消極的で在り方では、業界のためにも、地域発展のためにも役立たないのであります。

いまが、手がけた仕事は進めて行くほかないのであります。

去る三月二十七日の総会で承認されました昭和四十五年度の収支予算額は前年度に対比して二八・八%増となっております。この予算増は、諸物価の高騰、人件費増などいろいろ要因はありましょうが、最近、会議所の仕事がふえてきた証左でもあります。つまり仕事をやればやるほどカネがかかるという極めて簡単な理屈によるものです。

そこで新しい問題が提起されるわけであります。

問題のポイントは増収計画によって会議所の財政基盤を確立することであります。この対策として考えられたことは次のことであります。会議所には営利事業は許されませんので財政の柱は皆さんの会費に依存するほかありません。そしてそれにも限界があります。

要は新会員の加入獲得、会費、特別会費、役員会費をどそれぞれの引上げを皆さんに勧誘して頂けたら大変有難いことであります。会員数がふえるということは、とりも直さず地域発展への〝人誘い水〟となるものであることを確信するからであります。

ここで、一体何がそのような変化をもたらしたかを考えてみましょう。

ここに二、三年のうちに会議所は皆さんの先頭に立って陳情運動を展開するなどの一つ二つと実績を積み重ねてきたように思うのであります。これには、もちろんのこと関係各機関をはじめ市民皆さんの協力がありました点を第一にあげねばなりませんが、このうち、すでに目的を達成した主なるものを挙げてみますと、青年センターの建設、ハリストス正教会の復旧、移転就職斡旋用宿舎の建設、簡易保険養老センターの設置決定、亀井交学園の建立、駅前駐車場の整備等々がありまして、いまや観光面に社会福祉面にそれぞれ機能を発揮しておりますが、これら一連の施設が出来上がるまでには会議所も大小に協力を惜しまなかったのであります。

なおこれからも亀田町との合併促進、函館圏総合開発計画の策定、函館空港の整備拡充への他函館空港の整備問題と前向きの姿勢で取り組み努力しつづけ一日でも早く実現するよう協力することを使命と会議所の仕事は今後ともふんばりそうです。

しかしながら、車が忙しく走りまわれば、それだけガソリンを多く消費すると同じように、会議所も仕事を多くやればやるほど、カネが掛るのであります。つまり仕事の量と支出は正比例するのであります。これはコドモにも解る理屈であります。

むつかしいことではなく、ぬるま湯につかって、じっと身動きしないようにしておれば事足りるのですが、会議所がそのような消極的で在り方では、業界のためにも、地域発展のためにも役立たないのであります。

いまが、手がけた仕事は進めて行くほかないのであります。

去る三月二十七日の総会で承認されました昭和四十五年度の収支予算額は前年度に対比して二八・八%増となっております。この予算増は、諸物価の高騰、人件費増などいろいろ要因はありましょうが、最近、会議所の仕事がふえてきた証左でもあります。つまり仕事をやればやるほどカネがかかるという極めて簡単な理屈によるものです。

そこで新しい問題が提起されるわけであります。

問題のポイントは増収計画によって会議所の財政基盤を確立することであります。この対策として考えられたことは次のことであります。会議所には営利事業は許されませんので財政の柱は皆さんの会費に依存するほかありません。そしてそれにも限界があります。

要は新会員の加入獲得、会費、特別会費、役員会費をどそれぞれの引上げを皆さんに勧誘して頂けたら大変有難いことであります。会員数がふえるということは、とりも直さず地域発展への〝人誘い水〟となるものであることを確信するからであります。

ゲストに田中会頭

婦人会3月例会開く

本会議所婦人会の三月例会は三月十八日午後二時から函館市内で開かれた。今回は田中会頭がゲストとなって出席「函館経済界あれこれ」と題し、座談のムードの中で話を進め〝政治家の話の多くは、ウソばかりだ〟と笑わせたり、なるほどとコツクリさせたり、一時間半の熱演であった。

会頭の話は日本経済の成長から始まって石炭からエネルギーまでのエネルギーの変遷過程を語り、一部国民の被害アレルギーを三時十八時から本所で開かれた。今回は日本経済界の中央情勢を頂点に函館市内を中心に、主要問題をとりあげて島嶼的に平易な解説を試みた。

最後に本会議所が四十三年以来手がけて来、すでに達成した事業や、これからの事業、これらの事業に対する、ご理解と協力を願いたいとの話があった。

なお、会議所は、ハリストス正教会の復旧、亀井交学園の建立、駅前駐車場の整備、簡易保険養老センターの設置決定、函館空港の整備拡充、函館圏総合開発計画の策定、函館港の整備、臨海工業地帯の造成、函館市内の欠員は三名、函館市内の欠員は一名、函館市内の欠員は一名、函館市内の欠員は一

函館の古代史考 メモから

〈2〉

佐藤　精

朝廷と渡島アイヌの仲
昆布で結ばれたえにし

編集者の厚意から、スペースを拡げてくれたので、ついでに、ことしは、出羽の神領荘安倍頼東に、ことし三月、朝廷と渡島アイヌの抑もの関係から探ねう。

渡島の語源が、日本書紀に『越の渡島』（こしのわたりしま）と出てくる。飯田武郷の日本書紀通釈によれば『越の渡島とは、昔在の鎮守将軍大伴宿禰駿河麻呂が朝廷へ奏上したところ、天皇は宰（みこともち）を遣し『渡島の蝦狄（えみし）を撫育（なでそだて）し、越使から蝦狄を招撫して、その名しを来貢献してみい。方今倭人が逆をなし、辺民を侵擾しているというが、よろしく将軍の職責のひとつくり、存分に慰撫すべし』と宣い、おまえらの使者を使いのもので、この場合もお島と称び、それが地名に転訛したのだ」といった。

とにかく、渡島は国郡を中心とした道南を指しているが、渡島アイヌは、古来して本州に住んでいて、弘前は蝦狄（えみし）にきえて、と勇猛果敢で、和人の侵攻には徹底的にレジストしていた。日本書紀によれば、斉明天皇の四年（六五八年）、西暦六五八年に、前後二回蝦夷地を侵して来た。大河の畔、北海道の二〇〇戸の軍船和人と戦ったが、「〇〇人の渡島蝦夷、河石狩川たちより、その大人は『何の故に、それは地名に転訛したのだ』といった。

それは『経済学』には『何の関係もない』、対蝦夷の現地にある渡島蝦夷とその平安朝時代にはいっていた。

ことに